



キャンプ改善計画について熱く議論する（左：ジャラゾン難民キャンプ, 右：アスカール難民キャンプ）

September 2018

OARC, JZRCの難民キャンプ改善計画が完成

OARC, JZRCにおけるキャンプ改善計画策定への道

PALCIP(難民キャンプ改善プロジェクト)では、2年目の対象キャンプとして選定されたアスカール難民キャンプ(OARC)とジャラゾン難民キャンプ(JZRC)にて、2018年4月より、キャンプ改善のための住民参加型計画策定を行ってきました。

キャンプ改善計画の策定は、パレスチナ解放機構(PLO)難民局(DoRA)の主導の下、女性、青年、高齢者、障害者など立場の異なるキャンプ住民の代表からなるフォーラム(CIF)で、それぞれのグループが抱える課題やニーズを取り纏めます。そして、それをもとにこの先5~10年の望ましいキャンプの在り方について話し合い、ビジョンと戦略目標を設定し、目標達成のために必要な改善アクションを特定するというプロセスで行われました。

2年目は昨年のアクバットジャバル難民キャンプ(AJRC)で学んだ、キャンプ改善計画策定までの流れや直面した課題を振り返りつつ、さらに各キャンプ特有の課題、特徴に配慮した計画策定をDoRAが中心となり進めました。

2年目のキャンプは昨年のAJRCとはキャンプの空間的状況や、生活環境が大きく違い、同時に住民委員会(PC)の特性も異なったため、案件について正しく理解をしてもらうにも時間がかかりました。時には日本人専門家、DoRA含めた関係者で業務時間外にキャンプのPCに赴き、時には夜遅くまでCIFメンバーと会議を行い、本プロジェクトの意義や目的を繰り返し説明し、理解してもらえるように努めました。

OARC, JZRCにおけるキャンプ改善計画(CIP)

2018年7月、計画策定を達成するために必要なステップが無事終了し、両キャンプにてキャンプ改善計画が完成しました。

▶OARCにおけるCIP

ビジョン：文化的かつ健全で連帯があり安全で教育的なキャンプ

戦略目標：

- ①安全なキャンプ、②教育の行き届いたキャンプ、③すべての住民に公正な保健システム、④障害者など支援が必要な人々の参画、⑤男性と共に社会をリードする力強い女性、⑥強固なキャンプ内組織制度、⑦公平な機会が担保された良い経済、⑧社会調和とコミュニケーションがあるキャンプ

▶JZRCにおけるCIP

ビジョン：すべての住民が尊厳を持って暮らせる包摂と参加が担保されたキャンプ

戦略目標：

- ①社会的に安全なキャンプ、②ボランティアと協働の促進、③女性の社会的役割の促進、④障害者と高齢者の社会参画の促進、⑤教育と保健の環境改善、⑥経済的に繁栄したキャンプ、⑦インフラが改善されたキャンプ

今後は、これらの戦略目標に紐づく優先アクションから、インフラ、非インフラ事業をパイロット事業として実施していきます。